

「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company!

No.36

有限会社 泉屋

泉屋は1960年に創業、以来60年間にわたり、衣類を扱うクリーニング専門店として福岡市を中心に事業展開しています。「お洋服をきれいにしたい」「長く快適に着られるようにしたい」「より安心なクリーニングをお届けしたい」。吉本三蔵社長はそのような思いで家業を営んできたと振り返ります。強みは染み抜き技術と水洗いのウェットクリーニングです。洗う物の繊維が多様化する中、日本古来の着物の染み抜き技術を生かしながら、新しい洗浄機械を導入するなど、顧客のニーズに応えています。



「本物」の染み抜きで他店で落とせない染みを落とす

DATA | 企業概要



企業名 有限会社 泉屋
代表者 吉本 三蔵
所在地 福岡県福岡市博多区吉塚本町2-17
TEL 092-621-7227
FAX 092-629-7238
URL <http://izumiya-c.com>
従業員 35人
事業内容 クリーニング業

こだわりのクリーニング 自信を持ってお届けします！

着物の染み抜き技術を生かす

着物の染み抜きとは、ベースとなる地の色が抜けても同じ色に染色して補正すること。吉本社長は姉と京都で染色補正技術を学



熟練の技が光る

び、染色補正1級技能士の国家資格を持っています。その技術を洋服に広く応用。大手や地元で競合する他店との差別化を打ち出しています。他店で落ちなかった染みを吉本社長は、「落ちないではなく、落とせなかったのかもしれない」と話し、技術と経験に裏打ちされた自信のぞかせます。

白さが違うプロの水洗い

衣類の汚れは、2つあります。食べこぼしなど水に溶けやすい水溶性の汚れと、皮脂や食用油など油に溶けやすい油脂

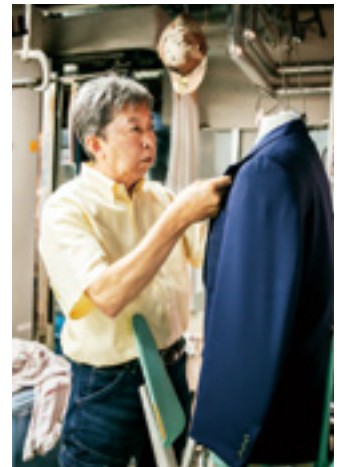


こだわりのクリーニングがオシャレに磨きをかける

系の汚れです。水溶性の汚れはウェットクリーニングで洗います。ただウールなどデリケートな繊維類は縮みや型くずれが起きるため、洗い方を工夫し独自配合した洗剤を使います。洗浄水にはマイナスイオン水を使い、繊維の奥まで洗浄水を浸透させると、「汚れ落ち、白さ、消臭力が違う」（吉本社長）といます。

機器導入でサービス向上

油脂系の汚れは石油由来の有機溶剤を使ったドライクリーニングで洗います。「きれいな溶剤は、汚れ落ちが断然違う」（同）と溶剤にもこだわります。一般的には、フィルター過のみで溶剤を再利用します。一方で同社はフィルター過と併せて溶剤中の不純物をほぼ除去する蒸留リサイクルシステムを導入しました。このほか機器導入では（公財）福岡県中小企業振興センターの支援を受けて、人体フォーマープレスや立体乾燥仕上げ機、両ラベルプレス機を導入。水洗いした背広の即日仕上げを可能にするなど、サービス向上に余念がありません。



背広をバリッと仕上げる

MESSAGE

経営者の声



吉本 三巖 社長

幼いころからクリーニング業を営む父親の背中を追いかけて、繊維の勉強を基礎から学んできました。35歳で2代目のバトンを受け継いで30年。福岡市を中心に7店舗を展開しています。次にバトンを渡す息子たちも成長しています。衣類に限らず革製品や帽子など、それぞれの得意分野を生かしサービスの幅を広げています。今後も安心、清潔、快適なクリーニングをお得な価格で、さらに付加価値の高いサービスを提供していきます。

〈お問い合わせ〉 債権管理課 TEL：092-622-6322